



# ヒラハタ ニュース

'24 新春号  
Vol.43

福岡市早良区高取1-19-20 〒814-0011  
TEL 092(843)7757 FAX 092(844)2420  
<http://www.hirahata.info>  
Facebook: [www.facebook.com/masahiro.hirahata.3](http://www.facebook.com/masahiro.hirahata.3)

## ご挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

新年早々に大きな災害が元日から続きました。被災された方々に心からお見舞い申し上げ、1日も早い復旧復興を祈るばかりです。

昨年はコロナ・インフルエンザが流行しつつも、4年前同様の日常が戻ってきました。とはいえ、コロナ禍の影響は大きく、社会経済状況はもとより、地域行事等もまだまだ従前通りとは行かず、地域の絆を取り戻すのはもう少し時間がかかるのかもしれません。

さて、全国的にタクシーが足りないと言われており、同様の報道がなされています。福岡市でもタクシー稼働率が60%を切っており、コロナ禍以降タクシードライバーが減少したことも原因の一つです。そのような中、ライドシェアという言葉がさかんに議論されるようになってきました。簡単に言えば“白タク行為”、つまり普通1種自動車免許でお客様を送迎し料金を取ることです。確かにタクシーが足りない状況は何とかなければなりませんが、タクシー利用者の安全・安心についてどう守っていくのが最大の課題です。ライドシェアするドライバーの運転技術が未熟である可能性も否めませんし、万が一の事故の際、整備不良あるいは当該車両が保険に入っていない場合、誰が責任を取るのか、補償が受けられない可能性も出てきます。また渋滞緩和について、現在はタクシー協会が福岡ドームや春吉橋・博多駅等で自主ルールにより協力しています。しかしながらライドシェアありきの規制緩和になれば、色々な懸念が出てきます。タクシーが少ない地域では、このライドシェアで便利になる場合もあると思いますが、タクシー会社の倒産や廃業により結局タクシー不足となりかねません。早朝や深夜の予約が厳しくなる可能性もありますし、「安全・安心」にコストをかけているタクシーとライドシェアでは公平な競争になりません。現在、国で議論が進められていますが、タクシー事業者の意見も聞いて安全・安心を第一に進めていただきたいと考えています。

今春は、福岡市動物園に6年以上不在だったゾウが4頭、ミャンマーからやってきます。3月には西鉄天神大牟田線新駅『桜並木駅』開業。また、7月・8月の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が福岡で開催されます。選手の皆様の活躍を大いに期待したいと思います。

今年が自然災害の少ない平穏な1年であることを祈念して挨拶いたします。

謹白

令和6年1月吉日

福岡市議会議員 平畑雅博

# 令和5年6月議会(一般質問)

## 第2子以降の保育料無償化について

**Q** 〈平畑〉今年度から開始した第2子以降の保育料無償化については、保育所や幼稚園に通う第2子以降の児童が対象とされます。しかしながら、幼稚園や保護者が市に問合せしたところ、幼児教育の対象となる満3歳を迎える前の2歳児を対象とした、いわゆるプレ通園は対象外と説明を受け、戸惑っているという声を聞いています。ゼロから2歳の第2子以降は全て無償化の対象ではないのか、お尋ねします。

**A** 〈野中子ども未来局長〉国の幼児教育・保育の無償化の対象となっていなかったゼロ歳から2歳児の課税世帯を対象として実施しております。一部の幼稚園において幼児教育の対象となる満3歳を迎える前に実施されている、いわゆるプレ通園につきましては、各施設の独自のサービスとして実施されているものであり、無償化の対象としていないものでございます。

**Q** 〈平畑〉高島市長が第2子以降の保育料無償化を発表した際、新年度の予算概要の説明のときに、政令市初、幼稚園も含むということも明示をしておられます。保護者や幼稚園は就業支援だけでなく家庭支援にも市長が目を向けてくれたと喜んだのです。同じ

幼稚園が実施する事業であるのに、事業によって無償化の対象のものと対象外のものがあっては、保護者は納得できない。利用児童を無償化した場合、どの程度の予算が必要になるのか、お尋ねします。

**A** 〈子ども未来局長〉令和5年3月末における満3歳児として幼児教育を受けている児童数約1,600人を基に推計いたしますと、いわゆるプレ通園にかかる利用料について、第2子以降無償とするために必要となる予算は約1億2千万円でございます。

**Q** 〈平畑〉今年度の福岡市の施策は子育て支援の充実をうたっていて、新たに40億円もの支援、そのうち23億円が第2子以降の保育料無償化です。子どもが小さい間は保育園に預けずに頑張っ家庭で育てようとしている保護者もあり、そのような家庭を応援しているのが幼稚園です。プレ通園が今回の第2子以降の無償化からの対象から漏れているのは残念ではありません。今年度予算の目玉であり、子育て支援に力を入れますと言ったのは福岡市です。補正予算を措置し、遡及してでも対応すべきであると思いますが、所見を伺います。

**A** 〈子ども未来局長〉幼稚園や利用者である市民の方からもプレ通園に関するご要望の声をいただいているところであり、今後、プレ通園についての現状を把握し、どのような支援が必要かを検討してまいります。

## ひらはたDiary

9月27日

### 特別支援学校 「清水高等学園」視察



令和5年4月に開校された特別支援学校「清水高等学園」を視察しました。

企業就労・福祉的就労を目指す特別支援学校の高等部です。生徒の職業的自立や社会参加を実現するために必要な力の習得とともに、一人一人の持てる力や可能性を最大限に伸ばすことを目指して開校しました。

福岡市には「博多高等学園」に続き2校目の、知的障がいのある生徒の就労を目指す学校です。



9月27日

### 西都北小学校視察



令和5年4月に開校の、西都北小学校を視察いたしました。児童数約400名、13学級と、特別支援学級が2クラスあります。

多様な学習ができるワークスペースがあり、ゆとりある空間となっています。トイレには非接触型水栓が設置されています。また、高潮避難エリアのため体育館は2階に配置され、避難場所が確保されています。

## ひらはたDiary

10月14日

福岡地区水道企業団  
設立50周年記念式典に出席



今年7月から議長に就任しました福岡地区水道企業団が設立50周年を迎え、記念式典が市役所西側ふれあい広場で開催されました。

この50年間には福岡都市圏が大湯水を経験したことを踏まえ、設立の第一目的であった筑後川からの導水をはじめ、ダムの開発、海水淡水化センターの建設など、時代に合わせて計画的に水源開発に取り組んで参りました。今後も、良質で安全な水を安定的に供給することを使命に、適切に対応していきたいと挨拶させていただきました。

同会場では、「筑後川のめぐみフェスティバル」が開催されており、大変賑やかな中で開催できましたことを嬉しく思います。



12月1日

福岡市動物園に  
展望休憩所が開設!



動物園全体が観覧できる休憩所が整備されました。今春に来るゾウ4頭を真上から見る事が出来ます。

## 土曜授業について

**Q** 〈平畑〉教育委員会から土曜授業について、年4回実施していたものを令和5年度から年2回に減らすとの報告を受けました。平成28年度から全市で取り組んでいる土曜授業ですが、そもそもの導入の経緯についてお尋ねします。

**A** 〈石橋教育長〉平成28年度から、市内すべての小中学校で年4回の代休日を設けない土曜授業を実施し、そのうち1回は、学校公開週間に合わせて11月に全市一斉で実施することといたしました。

**Q** 〈平畑〉今日は教育委員さん出席しておられますので、土曜授業についてどうお考えか、またこのアンケートについてどう受け取られたか、お尋ねします。

**A** 〈町教育委員〉平成28年度からの土曜授業の実施につきましては、「共育」を推進するという点で効果があったと考えております。また、保護者アンケートを見ますと、現状のまま実施してほしいという意見がある一方で、翌週に疲れが残るなどの意見も一定数ございます。他の政令市の実施状況や働き方改革の点からも、今後の在り方には見直しが必要と考えております。

**Q** 〈平畑〉学期に1回、土曜授業して、月曜日に遅刻あるいは疲れが残るということです。私は心配になります。教育委員さんにお尋ねしますが、学期に1回で

疲れるということは問題という認識はないのか、また、今後の土曜授業の在り方について教育委員会会議でも議論すべきという考えはないか、お尋ねします。

**A** 〈町教育委員〉土曜日に登校することに慣れていないので、中には生活リズムが崩れ、疲れると感じる児童生徒もいるのではないかと考えております。土曜授業に限らず、協議が必要な事項につきましては、他の教育委員や事務局と意見交換を行っておりまして、今後も引き続き必要な事項について教育委員会会議やその他の場面を通じて協議してまいります。

**Q** 〈平畑〉土曜日に登校することに慣れていないのでリズムが崩れる、疲れるということが私は心配なんです。教育長に申し上げますけれども、実施していた土曜授業の回数を4回から2回に減らすのにアンケートだけで決定したことになります。教育委員さんの考えも聞いて議事録に残していくことをしないと、将来、10年後か20年後か分かりませんが、このことを検証するときに誰がどういう考えで決定されたのかわからないままということになります。

なお、土曜授業を導入する際、これを確認したら、教育委員会会議で議論はされています。ですから、ちゃんとこういう場面でもどうするのかというのは教育委員会会議できちんとやっていくべきだと思いますし、大きな責任が教育委員会会議にはあると申し上げておきます。

今回のアンケートの取り方は、土曜授業の課題を把握

する上では大変不十分なものだと考えます。まず、学校の結果では、87%が土曜授業を減らした方が良いとのことでしたが、学校の回答者は校長先生に限られています。教員にも意見を聞くなど、幅広い意見を把握すべきではなかったのかと思います。また、大変恣意的なものを感じる保護者アンケートにもかかわらず「現状のまま実施してほしい」「増やしてほしい」を合わせると47.2%の保護者が土曜授業に肯定的であり、学校現場の意見だけで2回に減少させたこととなります。

アンケートの内容についてもそうですが、結果をもっと分析して、実施の方針を決定すべきだったと考えます。今後、検証を行う際には、地域も含めて公平なアンケートを取った上で、分析をしっかり行ってほしいと思います。今後の土曜授業の在り方についてどのように考えているのか、所見を伺います。

**A** 〈石橋教育長〉平成28年度から取り組んでまいりました土曜授業では、学校・家庭・地域が連携した多様な学習や体験の機会を充実させる「共育」の推進が図られました。一方で、最近の学校を取り巻く環境や社会の変化などから、代休日を設けない土曜授業を実施する上での様々な課題も見られます。今後につきましては、議員のご指摘も踏まえ、令和5年度の実施状況について、教員や保護者対象のアンケート調査などを基に検証し、今後の土曜授業の在り方について検討してまいります。

## ひらはたDiary

12月12日

早良区南部地域における  
多目的グラウンド整備の  
要望書を市長に提出！



現在、早良区にはソフトボールなどの球技大会を開催出来る多目的グラウンドが無いことから、平成29年には四箇田校区自治協議会、平成30年には早良区自治協議会全25校区が、令和3年には四箇田園スポーツ広場管理組合及び地元有志が多目的スポーツ広場整備の要望を行ってきました。これまで要望してきた場所周辺では地権者の高齢化や民間開発が進んでおり、このままではまとまった土地の確保が出来なくなるとの思いから、改めて多目的グラウンド整備の早期実現に向けて高島市長に要望しました。

## お知らせ 事務所を移転しました。

平素より使用しておりました平畑まさひろ事務所が、オーナー様のご都合により、同じ高取校区内ではありますが令和5年12月1日に移転いたしました。高取公民館そばの一戸建てです。皆様のお越しをお待ちしております。

**【新住所】福岡市早良区高取1-19-20**

**【旧住所】福岡市早良区昭代3-2-30**

※電話番号に変更はありません



ご意見がございましたら下記の電話、FAX、又はE-mailアドレスまでよろしくお願いいたします。

**TEL 092-843-7757 FAX 092-844-2420**

**E-Mail: hiramasa-kai@hirahata.info**

HIRAHATA.INFO  
公式ホームページ



LINE  
公式アカウント

